

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年02月24日

計画の名称	延岡市における下水道整備の推進（重点計画）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	延岡市													
計画の目標	・健康で快適に暮らせる生活環境の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		524	A	524	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	R04末	R06末
1	下水道処理人口普及率を76.1％（H30末）から80.0％（R06末）に増加させる。 下水道処理人口普及率を76.1％（H30末）から80.0％（R06末）に増加させる。 下水道処理人口普及率〔下水道を利用できる人口（人）〕／〔総人口（人）〕	76％	80％	80％

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

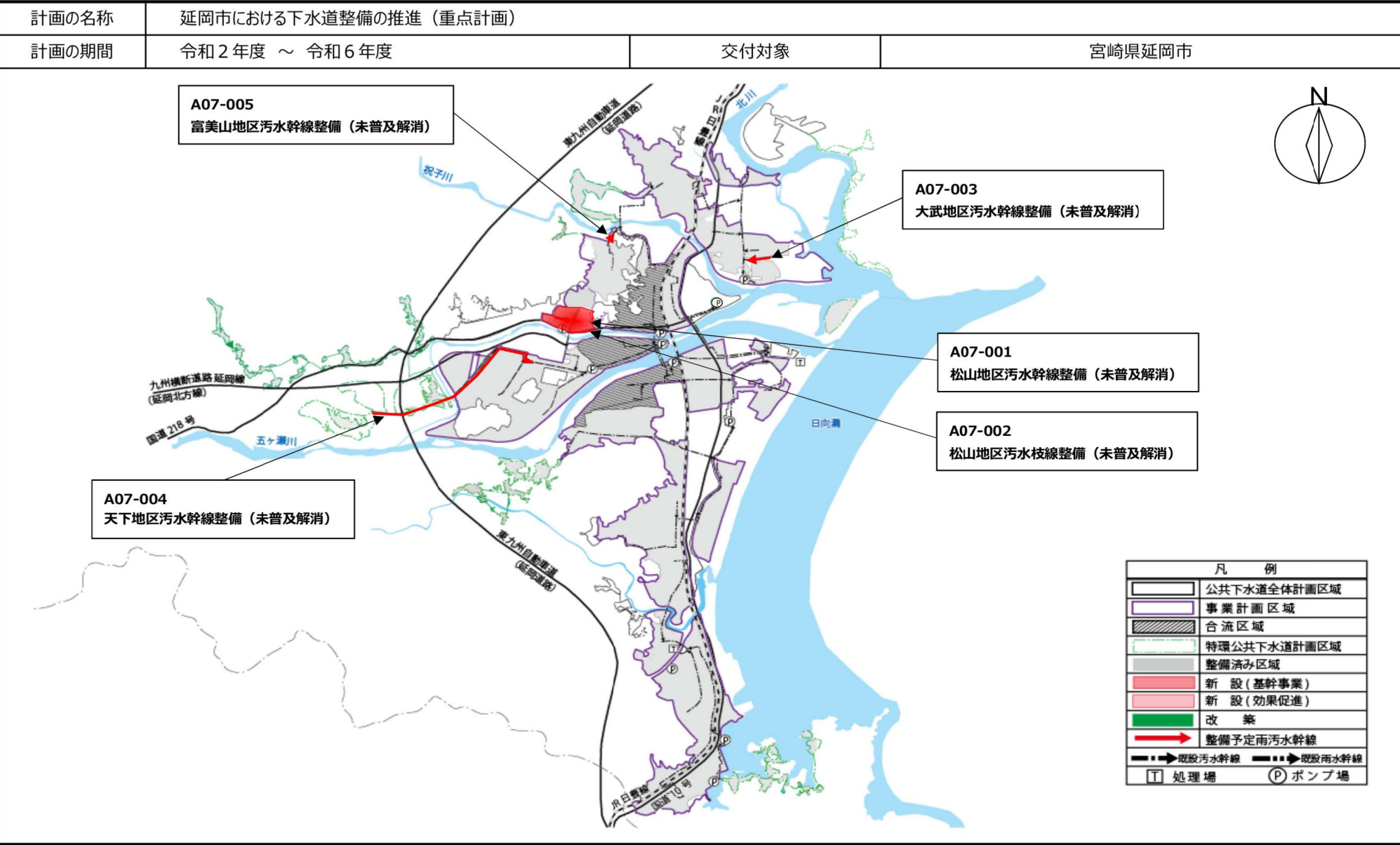
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 污水）	新設	松山地区污水幹線整備（ 未普及対策）	L=0.1km	延岡市	■	■	■	■	■	15		－	
	A07-002	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 污水）	新設	松山地区污水枝線整備（ 未普及対策）	A=22.0ha	延岡市	■	■	■	■	■	110		－	
	A07-003	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 污水）	新設	大武地区污水幹線整備（ 未普及対策）	L=0.7km	延岡市	■	■	■	■	■	142		－	
	A07-004	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 污水）	新設	天下地区污水幹線整備（ 未普及対策）	L=3.6km	延岡市	■	■	■			187		－	
	A07-005	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 污水）	新設	富美山地区污水幹線整備 （未普及対策）	マンホールポンプ1基 等	延岡市	■	■	■	■	■	70		－	
										小計							524			
											合計							524		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	42. 000	73. 000	56. 500		
計画別流用 増△減額 (b)	0. 000	0. 000	0. 000		
交付額 (c=a+b)	42. 000	73. 000	56. 500		
前年度からの繰越額 (d)	0. 000	33. 388	29. 076		
支払済額 (e)	8. 612	77. 312	57. 764		
翌年度繰越額 (f)	33. 388	29. 076	27. 812		
うち未契約繰越額 (g)	0. 000	1. 881	0. 000		
不用額 (h = c+d-e-f)	0. 000	0. 000	0. 000		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0. 0%	1. 8%	0. 0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）



事前評価チェックシート

計画の名称： 延岡市における下水道整備の推進（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等	○
I. 目標の妥当性 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	○
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 安全・安心、快適な暮らしという観点から地区の位置づけが高い。	○
I. 目標の妥当性 3) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	○
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○

[illegible]